

## CSA-JC SLA イノベーション ワーキンググループ 設置企画書

(1) 起案者、ワーキンググループリーダー（起案者と異なる場合）の所属、氏名、連絡先

起案者

笹原英司（[esasahara@cloudsecurityalliance.jp](mailto:esasahara@cloudsecurityalliance.jp)）

特定非営利活動法人ヘルスケアクラウド研究会（在日デンマーク商工会議所会員）

ワーキンググループリーダー

有田 仁（[jarita@cloudsecurityalliance.jp](mailto:jarita@cloudsecurityalliance.jp)）

一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス 運営委員

(2) ワーキンググループの名称

CSA-JC SLA イノベーション ワーキンググループ

(3) ワーキンググループの目的

CSA-JC SLA イノベーション ワーキンググループは、CSA EMEA の SLA-Ready および関連する地域連携活動に準拠して、標準化と透明性の視点から、クラウドセキュリティの SLA (Service Level Agreement) に関する基本的な調査研究を行い、潜在力のある中小企業・小規模事業者や地域のイノベーションコミュニティ向けに、クラウドサービス利用時のセキュリティ/プライバシー保護に関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス（以下、「CSA ジャパン」という）における各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(4) ワーキンググループの設置理由・背景等

【参考】CSA EMEA と欧州連合（EU）の過去の連携活動実績：

EU のプロジェクト	CSA EMEA の主な役割
FP7 HelixNebula（2014 年終了）	普及
FP7 CIRRUS（2014 年終了）	認証のベストプラクティス（グリーンペーパー）
FP7 CUMULUS（2015 年終了）	セキュリティ資産、継続的認証
FP7 CloudWatch（2015 年終了）	認証、セキュリティ基準のプロファイル
FP7 A4Cloud（2016 年終了）	標準化、相互運用性、責任の評価/認証
FP7 SPECS（2016 年終了）	標準化、開発、ツール、普及

Horizon 2020 PICSE (2016 年終了)	調達障壁の特定、ベストプラクティス
Horizon 2020 SLA-Ready (2016 年終了)	標準化、クラウド SLA マーケットプレイス
Horizon 2020 CloudWatch2 (継続中)	標準化、リスクプロファイリング

(5) ワーキンググループの調査研究対象範囲または対象とする項目

本ワーキンググループは、CSA EMEA の SLA-Ready およびその他の地域連携活動に準じて、以下の領域を研究対象とする。

- ・イノベーション推進政策とクラウド SLA を取り巻く外部環境分析
- ・クラウド SLA の共通参照モデル
- ・クラウド SLA 管理のベストプラクティス
- ・クラウド SLA のセキュリティ/プライバシー保護における中小企業・小規模事業者固有の要求事項
- ・クラウド SLA のセキュリティ/プライバシー保護に関する中小企業・小規模事業者および地域コミュニティ向けの普及・啓発活動
- ・クラウド SLA の国際標準規格 ISO/IEC 19086 (Information technology -- Cloud computing -- Service level agreement (SLA) framework)

(6) ワーキンググループの目標成果物

- ・クラウド SLA のセキュリティ/プライバシー保護に関する中小企業・小規模事業者および地域コミュニティ向けの普及・啓発資料
- ・CSA EMEA および連携する公的機関/民間団体が公表しているドキュメント類の日本語版、説明資料等 (成果物は、CSA EMEA、CSA グローバルおよび CSA ジャパンの著作権ポリシーに準拠して管理される)。

(7) 予定するメンバーリスト・対象等

- ・活動期間中、CSA ジャパンの会員でクラウド SLA に関心のあるエンドユーザー、サービスプロバイダー等から幅広く、随時ボランティアを募る。同時に Cloud Security Alliance の Facebook および LinkedIn 登録メンバーに対しても、CSA ジャパンの会員化も企図した募集を行う。
- ・内外の中小企業・小規模事業者およびイノベーション推進活動に関わる商工団体、教育・研究機関、公的機関等との連携を図る。

(8) 活動費用

上記活動に伴う会場費、資料作成費、通信費等、本ワーキンググループ運営に必要な経費を予算化し、CSA ジャパン事務局へ申請を行う。

(9) ワーキンググループの活動予定期間

本ワーキンググループは、本設置企画書に定める成果物のために、2017年6月1日から2018年5月31日まで活動し、その時点で次年度活動の更新を検討するものとする。

(10) CSAのグローバル活動等との関連性の有無および内容

活動期間中、CSA EMEA および CSA グローバルの中小企業・小規模事業者支援活動の日本地域におけるサポートグループとして、グローバルレベルで実施される定期ミーティング、ドキュメント類作成・ピアレビュー、イベント・PR 告知等を積極的にサポートする。

本ワーキンググループにおけるコミュニケーションは、日本語を使用する。

(11) 設立時メンバー

本ワーキンググループの設立時メンバーは、次のとおりである。

笹原英司

有田 仁